

施設長 各位

那覇市医師会
会 長 山城千秋
担当理事 宮城政剛



「新型コロナウイルス感染症」関連資料の提供について

平素より医師会事業へのご支援ご協力賜り感謝申し上げます。

那覇市保健所・仲宗根所長より「沖縄県疫学・統計解析委員会」からの報告事項をご提供いただきましたので下段にてご報告致します。

☆ 問合せ先(那覇市医師会 事務局:上地・上原 / 電話 098-868-7579)

.....記.....
◎ 沖縄県疫学・統計解析委員会から【現状】と【推定】と【解説】をいただきましたので、ご報告致します。(取扱注意でお願いいたします。) 【那覇市保健所 所長 仲宗根 正】

【現状】

沖縄県では、先週(3/1-7)の新規陽性者数は127人(前週108人)であり、増加に転じています。沖縄本島における実効再生産数(R)についても1.14(95%CrI:0.94, 1.34)と前週に引き続いて1を超えました(図1)。

年齢別では、半分以上にあたる70人が、20代から40代までのアクティブな成人でした。一方、65歳以上の高齢者が36人(前週19人)で、全体に占める割合は28%でした。

感染経路別では、家庭内27人(21%)と最多です。続いて、病院・社会福祉施設関連24人(19%)、飲食店19人(15%)と続きます。また、渡航者1人、渡航者との接触者3人でした。

75歳以上の陽性者22人について、感染経路別では、病院・社会福祉施設関連が18人(82%)と大半を占めます。地域別では中部16人、那覇市6人でした。これは中部地区のデイサービスで、集団感染が発生したことによります。

地域別では、中部51人(前週27人)、南部27人(前週32人)、那覇市48人(前週43人)であり、北部、宮古、八重山では陽性者を認めませんでした。この他、県外在住の渡航者が1人(前週3人)で、那覇空港(NAPP)での検査希望者でした。

流行が中南部に集約化されており、とくに中部地区において陽性者が急速に増加しています。歓楽街、デイサービスなどで集団感染が発生しており、今後も拡大する可能性があります。注意が必要です。

入院患者数は下げ止まっています。3月7日時点で109人(前週末127人)であり、このうち中等症以上の患者数は64人(前週末61人)でした。また、気管挿管されている重症患者は2人(前週末1人)でした。

【推定】

沖縄県では、中南部において持続流行しながら、徐々に拡大する可能性があります。一方、北部、宮古、八重山では収束状態を保っています。今週の新規陽性者数は130-170人と推定します。入院患者数は、今週末までに100-120人となり、気管挿管等が行われる重症患者数は3-4人と見込まれます。

【解説】

今月(3月)は、年度末としての行事が重なるのに加えて、入学や就職などによる人の移動が活発になります。また、春休みの観光渡航が増加することも見込まれます。昨年同様に春の流行が起こりうると考え、県外からの持ち込みの早期発見を行いながら、徐々に活動を再開さ

せていくことが求められています。

帰省など一般家庭に宿泊したり、スポーツイベントに参加するなど、県内での感染拡大リスクの高い渡航者については、事前に検査を受けてから来県されることを強くお勧めします。これは、沖縄本島から離島を訪問する方についても同様です。

那覇空港では、緊急事態宣言の発出されている地域に限ることなく、希望する全渡航者を対象としてPCR検査が受けられる体制をとっています（予約制）。沖縄本島から離島を訪問する方も対象となります。ただし、結果をお伝えするのは翌日以降となりますので、やはり渡航前に検査を受けていただいて、陰性であることを確認されてから来県されることをお勧めします。

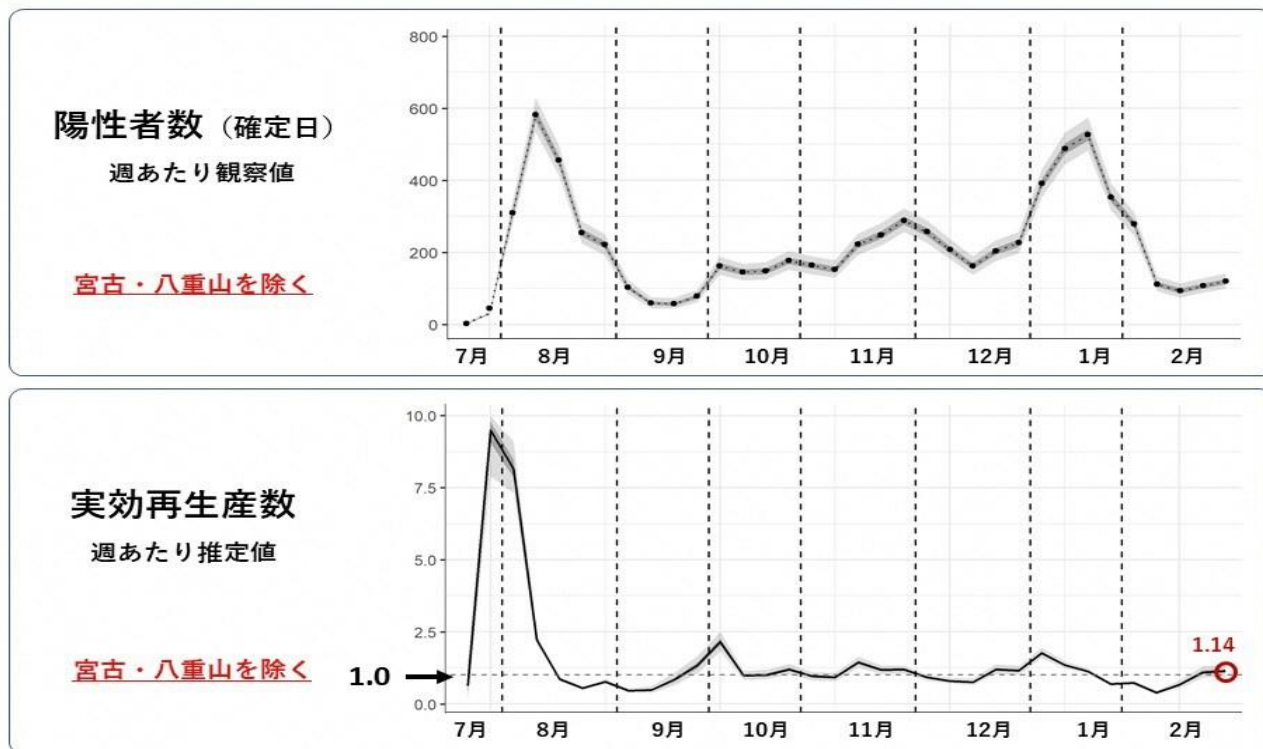
なお、沖縄県内では、沖縄臨床検査センターと沖縄民間PCR検査機構の2社に対して県が補助しており、2000円～2500円の自己負担でPCR検査が受けられるようになっています。また、いずれも郵送での申し込みが可能とのことです。

なお、陰性であっても感染が否定されたわけではありません。体調不良の方は、検査結果によらず、沖縄や離島への渡航を延期してください。渡航中に体調不良を感じたら、ホテルでゆっくり休んでください。医療機関を受診されたい方は、沖縄県旅行者専用相談センター／TACO（098-840-1677）に電話をかけて相談してください。緊急性が高い場合には、事前に受診方法を確認したうえで、近隣の救急病院を受診いただいて構いません。

レンタカーでの移動、家族でのホテルステイ、感染対策がとられたレストランの同行者のみでの利用、美ら海水族館や平和祈念資料館など感染対策がとられた公共施設の訪問、あるいはマリンスポーツなど屋外アクティビティであれば、観光自体の感染リスクは高くはありません。

その一方で、歓楽街を飲み歩いたり、多人数での宴席をもったりすることは、ご存じのように感染リスクを高めています。観光地ということでハメを外しがちになりますが、本土で控えていただいていることは、沖縄でも控えていただくようお願いします。

図1 陽性者数の推移と実効再生産数の推定



以上